

ポストコロナにおける地域介護人材について

外国人介護人材の確保と教育 —地域連携受け入れ構想—



城西短期大学

田渕 敬光

介護分野における人材不足の実際

	介護分野	全産業
有効求人倍率（全国）	： 4.17倍	1.22倍
有効求人倍率（埼玉）	： 4.50倍	0.96倍



【在留資格別】外国人介護人材

①介護

介護福祉士養成施設修了または介護の実務経験3年以上 + 介護福祉士の国家試験合格

②特定活動（EPA介護福祉士候補者）

東南アジア諸国との経済連携協定の一環

③技能実習生（介護）

技術移転を目的として中国や東南アジアから受け入れ

④特定技能（介護）2019年4月～

人手不足解消を目的とした在留資格

条件：日本語能力N4以上
介護日本語評価試験合格
介護技能評価試験合格

切替
OK

人手不足解消が目的ではない

外国人介護人材の活用における課題

三菱UFJリサーチ&コンサルティング(2021)

『介護分野に係る特定技能等の受入れの実態に関する調査研究事業【報告書】』

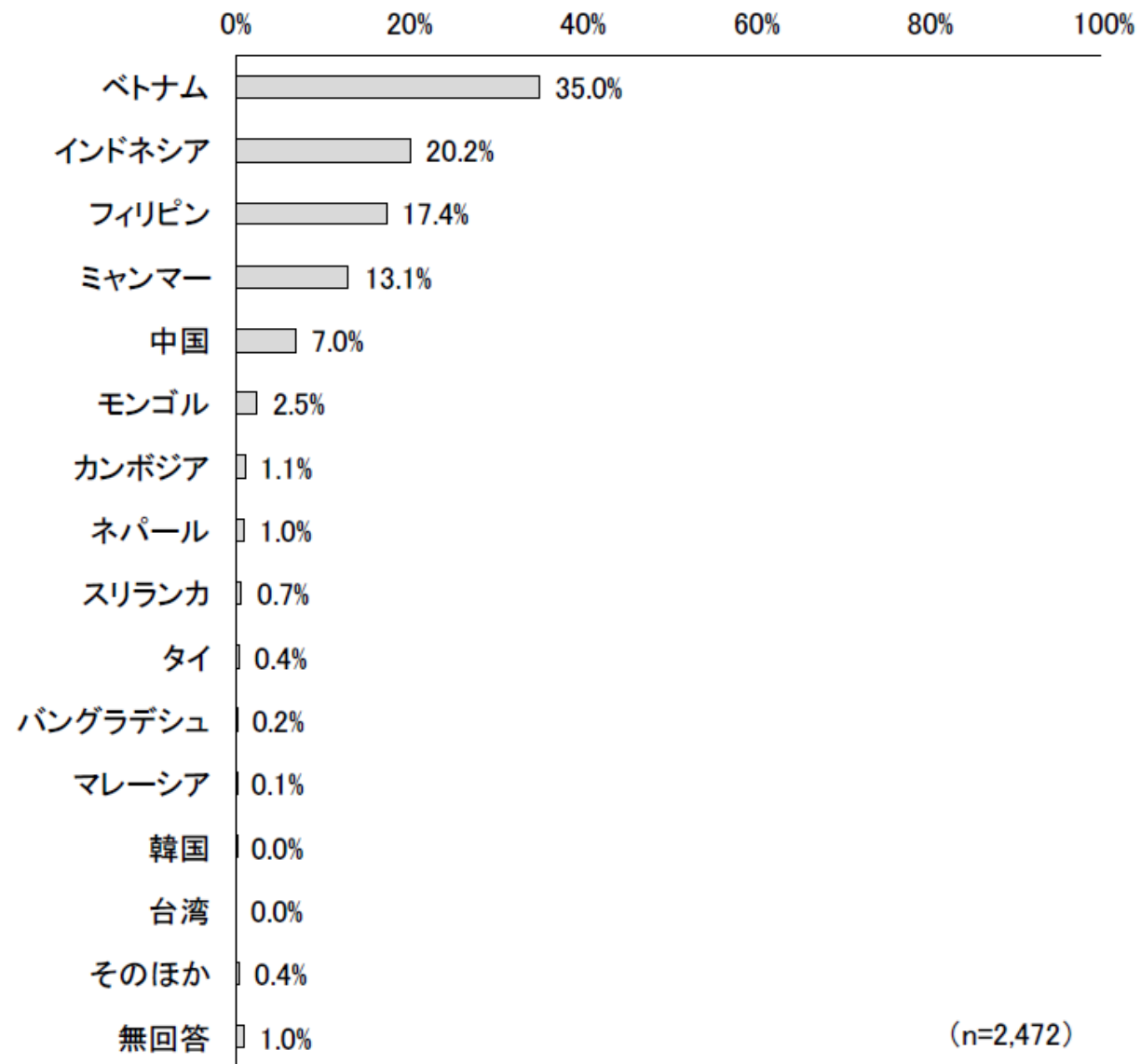
調査対象：外国人介護職員を受け入れている事業所

調査時期：2020年10月4日～2021年1月5日

回収結果：1,252 / 5,527（有効回収率22.7%）



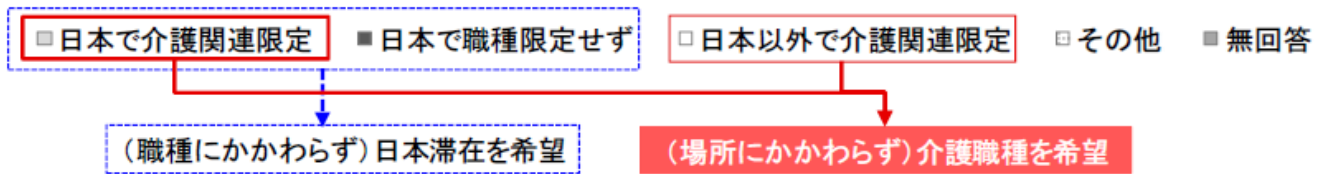
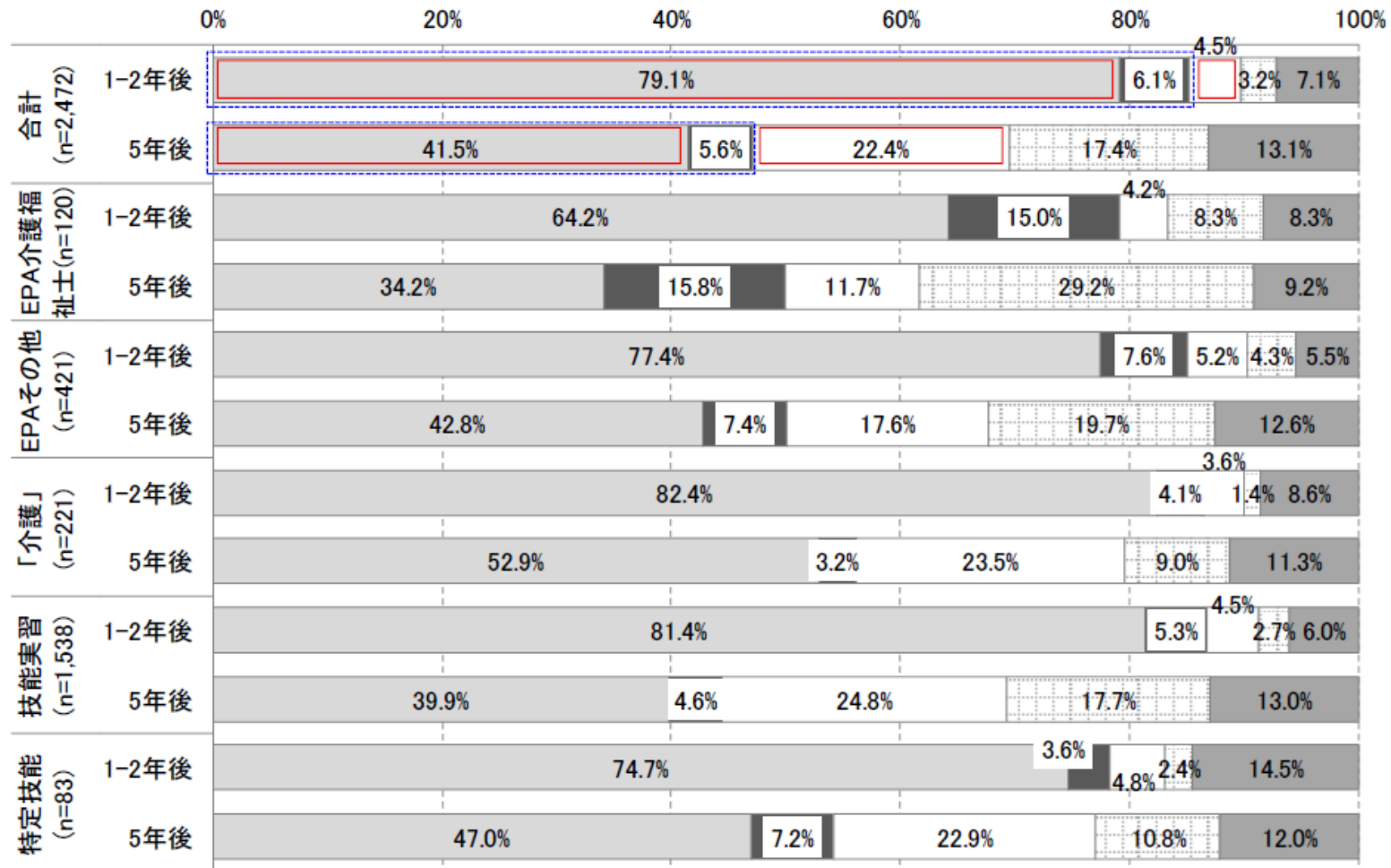
外国人介護職員の出身国・地域別の人数割合



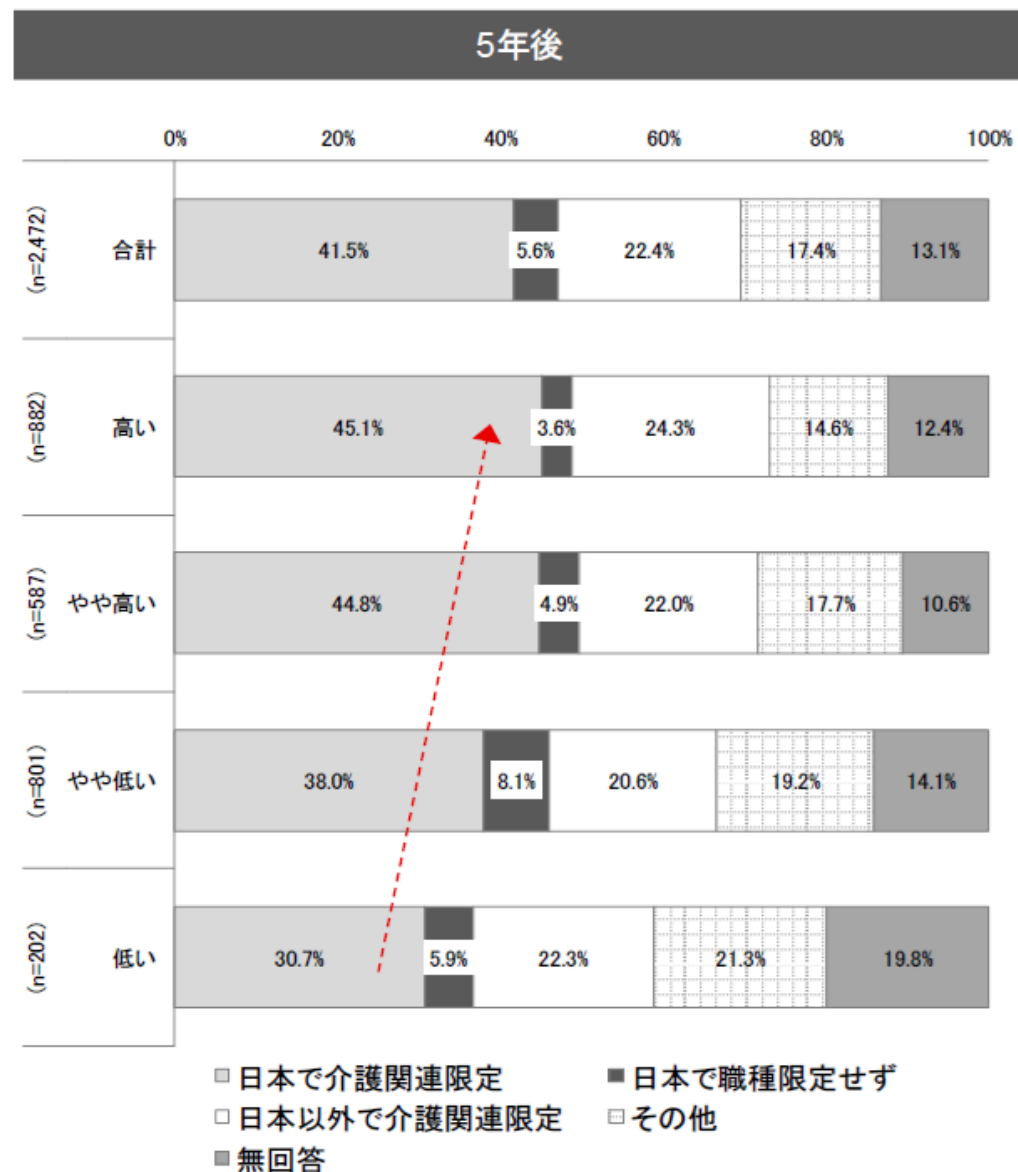
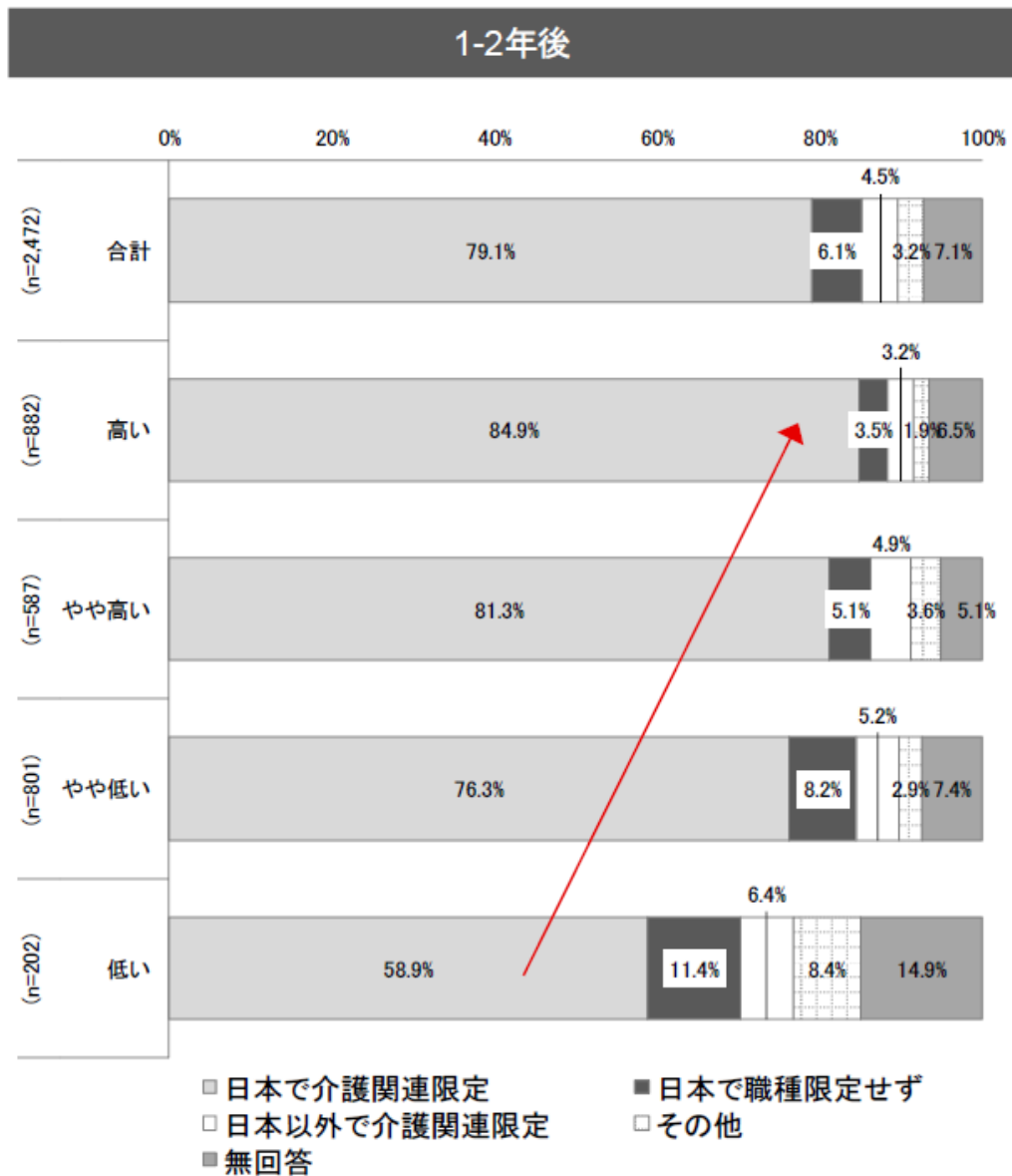
外国人介護職員に働いてほしい年数

- 「なるべく長く働いてほしい（46.6%）」
- 「5年以上（13.0%）」
- 「3年以上（15.4%）」
- 「在留資格によって異なる（12.1%）」
- 「わからない（2.8%）」
- 「無回答（10.0%）」

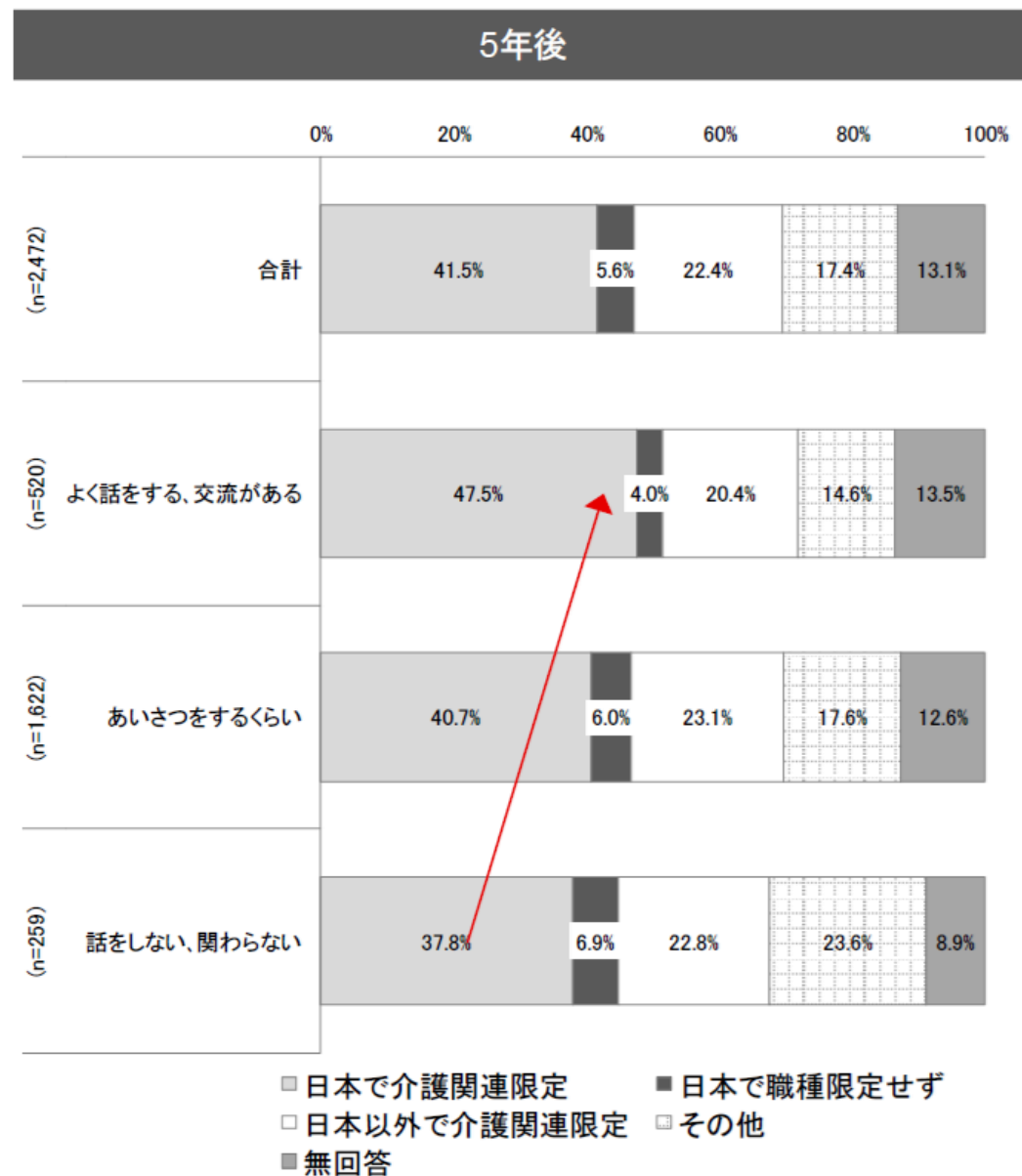
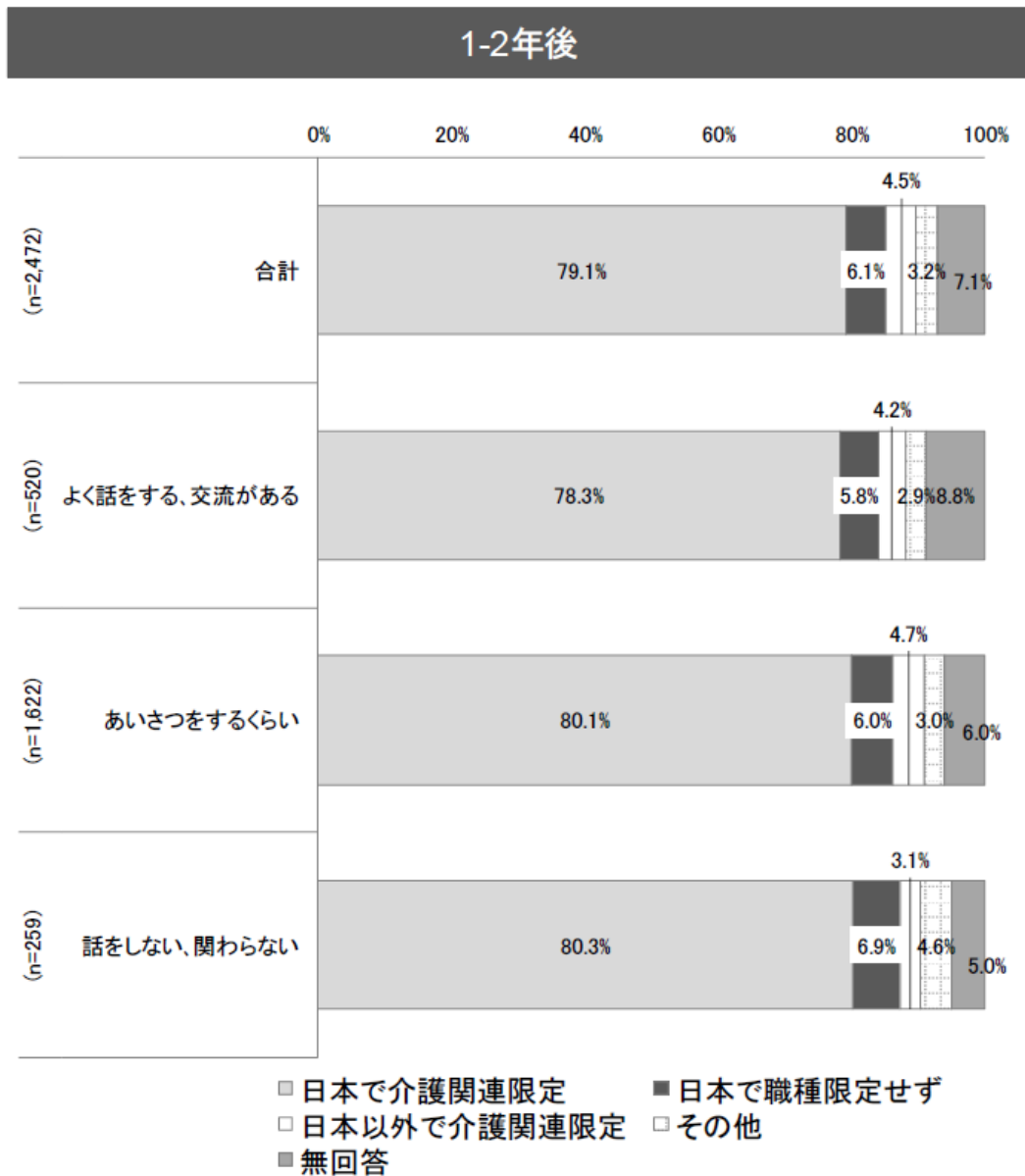
将来自分が住む場所と希望する仕事内容の関係



職場満足度と将来の展望との関係



地域の日本人との関わりと将来の展望の関係



外国人介護職員の受け入れにあたり重視していること（採用のポイント）

- 「日本語能力（73.7%）」
- 「日本の介護知識・技能の習得に対する意欲（71.9%）」
- 「介護という仕事に対する理解度（64.1%）」
- 「コミュニケーション能力（63.8%）」
- 主体性や誠実さ

外国人介護職員の就労環境や生活面の支援

- 「予防接種等、感染症予防に関する支援（83.7%）」
- 「介護知識・技能の習得のための支援（82.6%）」
- 「行政手続きや住まいの契約手続き等の支援（79.8%）」
- 「感染症予防のための研修等（78.5%）」
- 「介護現場に必要な日本語習得のための支援（77.4%）」

※「非常によく行っている」と「行っている」の割合を合わせたもの

外国人介護職員の日本語能力

業務上の文書を読む能力

業務上の文書を書く能力

N1 (3.0%)

専門用語も含めて対応できる

(18.6%)

(13.2%)

N2 (14.4%)

専門用語が不十分

(38.8%)

(34.3%)

N3 (52.6%)

ひらがな、カタカナ、簡単な漢字は問題ない (37.6%)

(44.1%)

N4 (25.8%)

ひらがなの読み書き程度しかできない

(3.5%)

(6.6%)

N5 (0.6%)

無回答

(1.5%)

(1.8%)

無回答 (3.5%)

日本語能力についてー日本語能力試験ー

日本語能力試験のレベルと学習時間の目安



N 1 900～1200時間

N 2 600～800時間

N 3 450～600時間

N 4 300～400時間

N 5 150～200時間

一般的に外国人が所謂「就労ビザ」を取得するうえでの要件

参考

中小企業診断士	1000時間
行政書士	500～1000時間
宅建	300時間
簿記2級	350～500時間

認定の目安

N1

●幅広い場面で使われる日本語を理解することができる

【読む】

- ・幅広い話題について書かれた新聞の論説、評論など、論理的にやや複雑な文章や抽象度の高い文章などを読んで、文章の構成や内容を理解することができる。
- ・さまざまな話題の内容に深みのある読み物を読んで、話の流れや詳細な表現意図を理解することができる。

【聞く】

- ・幅広い場面において自然なスピードの、まとまりのある会話やニュース、講義を聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係や内容の論理構成などを詳細に理解したり、要旨を把握したりすることができる。

N2

●日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる

【読む】

- ・幅広い話題について書かれた新聞や雑誌の記事・解説、平易な評論など、論旨が明快な文章を読んで文章の内容を理解することができる。
- ・一般的な話題に関する読み物を読んで、話の流れや表現意図を理解することができる。

【聞く】

- ・日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができる。

N3

● 日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる

【読む】

- ・ 日常的な話題について書かれた具体的な内容を表す文章を、読んで理解することができる。
- ・ 新聞の見出しなどから情報の概要をつかむことができる。
- ・ 日常的な場面で目にする難易度がやや高い文章は、言い換え表現が与えられれば、要旨を理解することができる。

【聞く】

- ・ 日常的な場面で、やや自然に近いスピードのまとまりのある会話を聞いて、話の具体的な内容を登場人物の関係などとあわせてほぼ理解できる。

N4

● 基本的な日本語を理解することができる

【読む】

- ・ 基本的な語彙や漢字を使って書かれた日常生活の中でも身近な話題の文章を、読んで理解することができる。

【聞く】

- ・ 日常的な場面で、ややゆっくりと話される会話であれば、内容がほぼ理解できる。

N5

● 基本的な日本語をある程度理解することができる

【読む】

- ・ ひらがなやカタカナ、日常生活で用いられる基本的な漢字で書かれた定型的な語句や文、文章を読んで理解することができる。

【聞く】

- ・ 教室や、身の回りなど、日常生活の中でもよく出会う場面で、ゆっくり話される短い会話であれば、必要な情報を聞き取ることができる。



特定技能（介護）の要件

日本語能力についてーN4とN2のレベル差の実際ー

★ N2レベル（留学生）

Q 1



Q 2



★ N2レベル（留学経験なし）

Q 1



Q 2



★ N4レベル（留学経験なし）

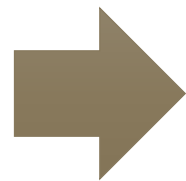
Q 1



Q 2



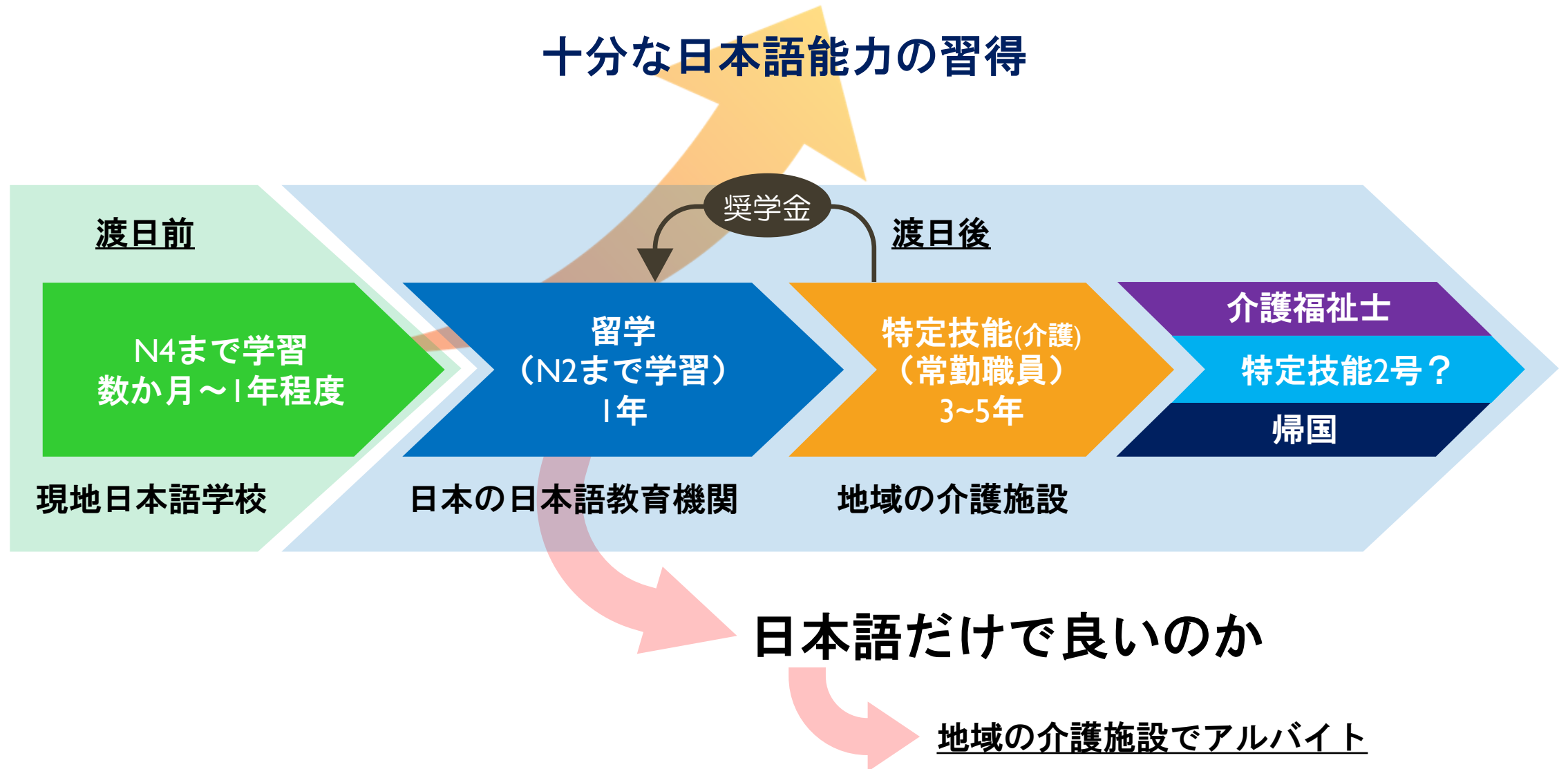
質問①日本語の勉強で何が難しいですか？
質問②将来何をしたいですか？



このレベルで来日して即戦力となり得るか



高い日本語力を持つ介護人材確保のための「事前留学」の提案



日本語学習機会の提供について

◆城西大学別科で日本語学習機会を提供◆

(留学生) 別科とは

大学・大学院入学を志望する留学生に対して

アカデミックレベルの日本語が運用できるよう教育する予備教育機関
(近年は就職希望の学生も増加)

◆日本語専修課程 (1年)

- ・ 初級～N2取得を目標とするコース

OK

◆日本文化専修課程 (1年)

- ・ 日本に対する理解の深化を目的とするコース

別科の特徴

- ・ 学費の安さ (1年間63万円)
- ・ 30年以上にわたり積み上げてきた教育メソッド
- ・ 日本人学生と気軽に触れ合える環境

外国人介護人材の地域連携受け入れ構想

